

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公開番号】特開2012-257210(P2012-257210A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-105342(P2012-105342)

【国際特許分類】

H 03 K 3/356 (2006.01)

H 01 L 29/786 (2006.01)

H 01 L 21/8234 (2006.01)

H 01 L 27/088 (2006.01)

【F I】

H 03 K 3/356 Z

H 01 L 29/78 6 1 8 B

H 01 L 29/78 6 1 3 Z

H 01 L 27/08 1 0 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月25日(2015.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のレジスタ構成回路と、第1のトランジスタと、を有し、

前記第1のレジスタ構成回路は、第1の端子と、第2の端子と、第1のNOR回路と、

第2のトランジスタと、第1のバッファ回路と、を有し、

前記第1のNOR回路は、第1の入力端子、第2の入力端子、及び第1の出力端子を有し、

前記第1のバッファ回路は、第3の入力端子及び第2の出力端子を有し、

前記第1の端子は、前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方、前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの一方、及び前記第3の入力端子と電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの他方には、データ信号が入力され、

前記第1のトランジスタのゲートには、前記第1の入力端子に入力される信号が反転した信号が入力され、

前記第2の端子は、前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの他方と電気的に接続され、

前記第1の出力端子は、前記第2のトランジスタのゲートと電気的に接続され、

前記第1のトランジスタ及び前記第2のトランジスタは、それぞれ酸化物半導体層にチャネル形成領域を有することを特徴とする半導体装置。

【請求項2】

請求項1において、

第3のトランジスタをさらに有し、

前記第3のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方と電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、定電位電源線と電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのゲートには、リセット信号が入力されることを特徴とする半導体装置。